

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(12月18日)(第17号)



修学旅行に行ってきました!



12月9日(月)から13日(金)まで、4泊5日の2年生の修学旅行に同行しました。昨年までは行先が関東方面でしたが、今年から関西方面に変更しました。

9日(月)13時30分に和泊港に集合。昨年は大雨の中伊延港から乗船して制服もびしょ濡れでしたが、今年は天候にも恵まれて予定通りに出港。たくさんの保護者や先生方に見送っていただきました。波も穏やかで、船内で配布されたボリューム満点のお弁当を堪能し、予定通りに鹿児島新港に到着。徳之島から乗船した中学生の修学旅行の団体を先に行かせて、整然と下船する姿は立派でした。そこで待っていたJTBの添乗員の椎さんと合流しました。



そして、バス1台で2班に分かれてピストン送迎してもらい鹿児島中央駅へ。そこから10:32発の新幹線で新大阪駅へ向かいました。4号車の指定席を丸々沖高で貸切っており、大変快適に過ごしました。発車するとすぐに座席を回転させ、お弁当や会話を回し、移り変わる車窓からの景色を楽しみながらあっという間に新大阪駅に着きました。私は、実は出水駅から鹿児島中央駅まで新幹線で10年間通勤していました。今回本当に久しぶりで、自分の子どもが住んでいる熊本、徳山、岡山の駅を通過したり停車したりできるのを楽しみにしていました。熊本駅で一人の乗客が添乗員の椎さんの席に座りました。驚いて尋ねてみると、話す言葉が英語。どうも次の列車と乗り間違えたようで、説明すると次の駅で降りていきました。この方も含めて、私は修学旅行中に3回外国人に道を尋ねられました。もう普通のことです。

新大阪駅では、待っていた近鉄バスのガイドさんと合流。そこから京都の清水寺へ。車窓から比叡山に積もった雪も見ることができました。



16時頃着いて全員で清水寺の入口まで行きクラス毎に写真撮影。さすがにインバウンドですれ違ふのは外国人ばかり。清水寺では、久しぶりに真っ赤に染まったモミジの紅葉を見ました。みんな思い思いに散策し、お土産店巡りや食べ歩きをして楽しんでいました。その後、ホテルに着いて早速バイキングの夕食。



メニューの中にタコ焼きやお好み焼き、串カツやどて焼きが入っていて、大阪に来たことを実感しました。



3日目は、お待ちかねの

USJ。みんな気合が入っている様子でした。7時頃には朝食を済ませて7時半にはホテルを出発。阪急電鉄からJRに3回乗り換えてUSJへ。途中で出口を間違えて地下鉄のホームに入り込んだり、満員電車で躊躇して乗れなかったり、いろいろなハプニングがありましたが、全員無事到着。都会の満員電車に乗るのも社会勉強です。USJでは、入口の回る地球儀を見た瞬間、もうテンションがマックスになっている様子でした。クラス毎に写真撮影を済ませて、それぞれで入場。中ではお目当てのアトラクションを目指して走り回っていました。この日、ドンキーコングのアトラクション

の解禁日で、平日にもかかわらず大混雑。どのアトラクションも9時の段階で、80分から90分待ちで、朝早くからジェットコースターに乗っている人たちを見て驚きました。19時40分の駐車場集合まで、みんな満喫できたようです。エクスプレス・パスを事前に買って、8・9回乗り物に乗った人から、会場を10周ほど歩きまわった人までそれぞれでした。ちなみに私は3周で満足しました。最後の人気キャラクターが勢ぞろいしたショーと花火は圧巻でした。



4日目は、同じく7時頃には朝食を済ませて、8時から班毎に大阪市内へ自主研修。12時半頃には、ほとんどの生徒が帰着。道頓堀周辺をはじめ繁華街を散策し、買い物や食べ歩きを楽しんだようです。中には駅を間違えたり、注文がうまくいかず時間がかかり、タクシーで帰着した班もありました。それもまたよい経験です。

その後ホテルから貸し切りバスに乗って伊丹空港へ。空港ではあまりゆっくり過ごす時間はありませんでしたが、14:50発の飛行機に無事乗ることができ



ました。ところが、座席の不具合等のトラブルのために40分ほど出発できず、予定がだいぶ狂ってしまいました。仕方がないので、座席に設置された画面で映画等を楽しみながら過ごしているようでした。

沖縄県那覇空港へは、大幅に遅れて到着。当然那覇市内の自主研修の時間が短くなってしまいますので、先生方と相談して、20時半のホテル帰着を21時まで延長しました。ほとんど全員が予定通りに帰着。尋ねると、沖縄名物のステーキを食べてきた生徒もいて、楽しみ方を知っていることに感心しました。

5日目は、朝の5時に起床してお弁当をもらって乗船。天気も良く揺れることなく、無事に和泊港に到着。船からタラソの風車が見えた時、帰ってきたことを実感しました。和泊港では、多くの保護者に出迎えてもらい、解団式を済ませて、それぞれ家路に着きました。大きなトラブルもなく、節度ある行動と周りに配慮した行動ができる沖高生は、本当に立派な生徒たちだと改めて感じた修学旅行でした。